

▶子宮内膜胚受容期検査（ERPeakSM）

1) 子宮内膜胚受容期検査（ERPeakSM）とは

子宮内膜が胚を受け入れる時期（着床の窓）を調べる遺伝子検査のことをいいます

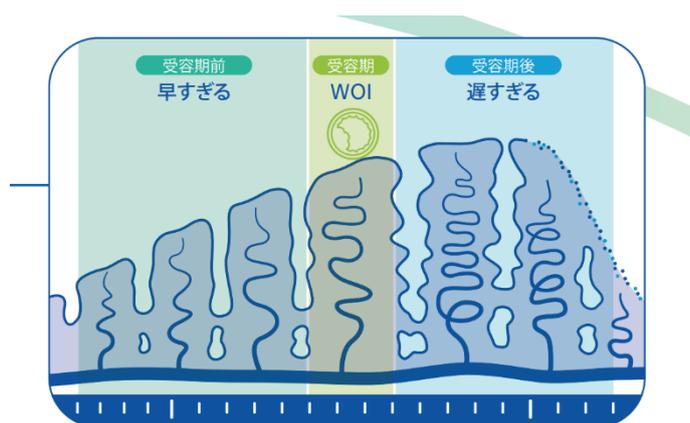
2) 子宮内膜胚受容期検査（ERPeakSM）の目的

この検査は、一人一人の最適な移植のタイミングを調べるために行います。

胚が子宮に着床する可能性は「着床の窓（WOI：Window Of Implantation）」と呼ばれる短い時期に高くなります。したがって良好な胚を移植してもWOIのタイミングがずれてしまうと妊娠が成立しません。WOIの時期や時間には個人差があり、胚移植を数回行っても着床しない反復着床不全の女性の約30%（10人に3人）はWOIにずれが認められることが報告されています¹⁾。

子宮内膜胚受容期検査（ERPeakSM）は子宮内膜の遺伝子発現プロファイルを解析することでWOIのずれを調べ最適な移植のタイミングを決定する目的で実施します。

1) Katzorke N, et al. Geburtshilfe Frauenheilkd. 2016; 76: 699-703



標準的な月経周期のタイムライン

3) 子宮内膜胚受容期検査（ERPeakSM）の対象となる方

- ①体外受精で良好な胚を移植しても、2回以上着床されなかった方
- ②医師が個別に必要と判断された方

4) 子宮内膜胚受容期検査 (ERPeakSM) の流れ

①子宮内膜調整と子宮内膜組織の採取

- 通常の融解胚移植と同様の方法で子宮内膜を調整します
- プロゲステロン服用開始から5日目に来院していただきます
- 子宮内膜を採取します

②検査会社 (CooperSurgical 社) に採取した組織を移送します

③遺伝子検査を行い、子宮内膜の着床能を分析します

- 遺伝子の発現パターンを調べて評価します

④胚移植の実施

- 検査の次周期以降に検査時と同様の内膜調整方法を用いて胚移植の準備をします
- 検査結果に基づいて移植日を決定し胚移植を行います



5) 子宮内膜胚受容期検査 (ERPeakSM) の検査結果について

検査結果は4つで評価されます

①受容前期：子宮内膜は胚着床の準備ができていません

胚移植は通常より1日遅らせます

②受容期：子宮内膜は胚着床の準備が整っています

胚移植は通常のタイミングで行います

③受容後期：子宮内膜は、最適な時期を過ぎています

胚移植を通常より1日早く行います

④非受容期：子宮内膜は着床に適していない状態です

子宮内膜の調整方法等の治療方針について再度検討します



6) 子宮内膜胚受容期検査 (ERPeakSM) の成果

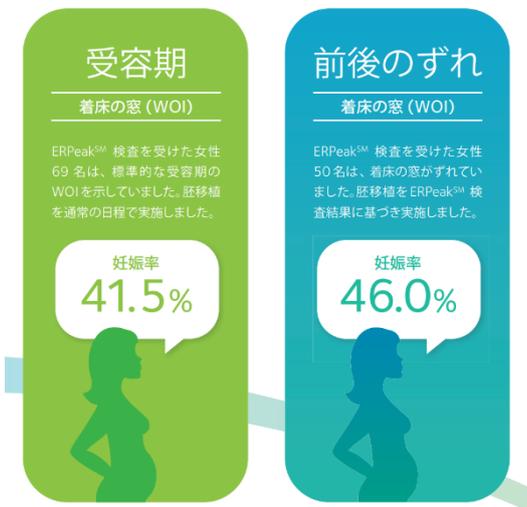
検査で WOI がずれていたと判定された女性が、検査結果に基づき適切なタイミングで胚移植を実施した時の妊娠率は 46%、一方、検査で受容期と判定された方が通常の日程で胚移植を実施した時の妊娠率は 41.5%と報告されています²⁾。また、反復着床不全の女性で検査結果に基づいて胚移植を実施した時の妊娠率は 51.7~63.2%と報告されています^{3), 4)}。これらの報告から、適切なタイミングで胚移植を行うことが重要であると考えられます。

2) Ohara et al. P351, Hum Reprod. 2020; 35: Suppl 1

3) Ruiz-Alonso M, et al Fertil Steril. 2013; 100: 818-824

4) Tan J, et al. J Assist Reprod Genet. 2018; 35: 683-692

ERPeakSM 検査を用いた正確な胚移植時期



7) 子宮内膜胚受容期検査 (ERPeakSM) の注意点

子宮内膜胚受容期検査 (ERPeakSM) は最適な移植のタイミングを知ることで着床 (妊娠) の可能性を高めることが期待できますが、以下の点で注意が必要です。

※注意点

- ①原則として、胚を一度凍結保存する必要があること
- ②検査をするために胚移植が 1 周期実施できないこと (移植の時期が 1 周期遅くなります)
- ③検査時に痛みを伴うことがあること (麻酔は使用しません)
- ④検査を行い最適なタイミングで胚移植を実施しても妊娠しない可能性があること

8) 費用

¥121,000 /回 (税込)